山 行 報 告 書

作成：２００７年6月１８日
愛知岳連　岡崎山岳会

山名[山域]	法恩寺山(1356.7m)　[奥越]	目的[方法]	白山禅定道を辿る
期間	２００７年6月１６日(土)	形態	日帰りハイキング
参加人数	1人		

行動記録：

◇6/16(土)　晴れ、微風、２６℃@法恩寺山

自宅(430) =0:15= 岡崎ＩＣ(445) =0:40= 一宮ＪＣＴ(525) =0:20= 長良川ＳＡ(545,600) =0:05= 美濃ＩＣ(605)[￥1,350] =0:30= 白鳥ＩＣ(635)[￥650] =0:30= 道の駅「九頭竜」(705,715) =0:45= 平泉寺ＰＫＧ(800,815) -0:35[参拝]- 登山口(850) -1:00- 剱之宮合流(950) -0:20- 三頭山分岐(1010,1015) -0:35- 稚児堂(1050) -0:20- 中の平避難小屋(1110,1120) -0:40- 法音寺跡(1200,1205) -0:05- 法恩寺山(1210,1400) -0:40- 中の平避難小屋(1440) -0:15- 稚児堂(1455) -0:30- 三頭山(1525,1530) -0:10-剱之宮合流(1540) -0:15- 剱之宮(1555,1605) -0:10- 登山口(1615) -0:15- 平泉寺ＰＫＧ(1630,1640) =0:10= 大野温泉「あっ宝んど」(1650,1730) =1:05= 白鳥ＩＣ(1835) =0:40= 富加関ＩＣ(1915) [￥850] =0:05= 美濃加茂ＳＡ(1920,1930) =0:50= 岡崎ＩＣ(2020)[￥1,350] =0:20= 自宅(2040)

概念図：

日誌：

Ｒ１５７を北上し下荒井隧道を抜け大野市から勝山市に入る。九頭竜川に架かる下荒井橋を渡り直ぐの信号を右折、県道１６９号に入る。道なりに走れば平泉寺に至る。

勝山市の無料駐車場に駐車し、平泉寺白山神社の苔むした参道に入る。本殿（修復工事中）右手の玉砂利道を詰めると三之宮に至る。ここに白山禅定道登拝口の標柱がある。直ぐに分岐があり、左は沢沿いの登山道、右は剱之宮のある尾根道（白山禅定道）に分かれる。行きは沢沿いの登山道を行く。

沢沿いの登山道は「法恩寺山まで○km」の標柱が１km毎に設置されているものの、余り利用されていないようで下草は結構茂っている。ストックで蜘蛛の巣を掃いながら進む。

進行方向が大きく左に曲がり、やがて沢を離れジグザグに山腹を登るようになる。水音が遠くなると右手から剱之宮経由の尾根道と合流する。道はここから随分良くなる。（尾根道の方が利用が多いということになる）

三頭山（みつがしらやま）分岐から先は更に道が良くなる。沢道の途中で出会った地元の山菜採りの方の話では大師山経由で登る人の方が多いということだ。三頭山は北側に展望が開け、スキージャム勝山が見渡せる。

ここから稚児堂跡まで坦々とした尾根道が続く。単調な登山道だがニガナの黄色、ツツジの朱色が目を楽しませてくれる。帰りにはササユリが見送ってくれた。

稚児堂跡を過ぎた処に弁ヶ滝への分岐があるがほとんど歩かれていないようだ。広域林道、法恩寺山登山口ＰＫＧに至る林道と舗装道路を２回も横切るのが興醒めだが、車に注意して眼を瞑って渡ろう。

良く利用させていただく中の平避難小屋はいつもどおり綺麗に保たれていた。ありがたいことだ。

この先は整備された階段状の登山道が法音寺跡近くまで続く。単調な登りに飽きないように階段の造りが工夫されているように思う。

法音寺跡から５分ほどで、真っ青な空を背景にした白山に迎えられて法恩寺山山頂に到着する。同じコースで登ってきたという地元の単独行と語らいながら、白山展望を楽しむ。暫く見ないうちに随分と夏姿になったものだ。

帰路は剱之宮を通る尾根道で降る。剱之宮付近は急下降（急登）だが、良く踏まれた歩き易い道である。